

平成29年3月13日

No, 99

日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

授業支援・油縄子小学校

6年理科・生物と地球環境「地球46億年の歴史」

3月8日(水)、油縄子小学校6年理科の授業支援を紹介します。今回は、「生物と地球環境」の発展学習としての特別授業を行いました。

- 地球46億年の歴史と人類の誕生
- 水、空気、人間の生命
- 地球温暖化

という3つのテーマに分け、映像やパワーポイントなどを駆使して、授業を展開していました。児童たちは、様々な宇宙の存在に関する現象を目のあたりにして、とても興味を示していました。月の誕生時の見かけの大きさが、現在よりもかなり大きかったことや、長い年月を経て生物の進化や滅亡が繰り返されたこと、地球上の二酸化炭素の含有量によって気温の変動が大きくなったことなど、文字通り、「地球46億年の歴史」のすごさを実感したようです。まだまだ、解明されていない分野も多くありますが、宇宙に存在する地球という惑星を身近に感じる授業になったのではないかと思います。説明の途中で、カンブリア爆発と呼ばれた「不思議な生き物」の生態の映像を流したり、クイズ形式で子どもたちに質問したりと興味を引き出す工夫もしていました。その中で、



地球から離れてゆく月



恐竜の子孫に近い動物は、現在の生きものの中でどれですか。

- A ワニ B 鳥 C トカゲ

という質問に、多くの児童が B の鳥と答え、授業支援の荒木さんから、「よく知っていましたね。勉強したのかな。」と、驚きの声上がるほどでした。

- 水は天才、なんでも溶かすすぐれもの。
- 酸素はある意味では猛毒、強い酸化力
でものを破壊する。

など、違った観点から水や空気存在を分かりやすく説明していました。

「地球46億年の歴史と人類の誕生」のまとめの部分で、

「地球の46億年の壮大な歴史の中で、今、私たちがいるのです。地球の46億年の歴史はフィクションではありません。壮大な現実のドラマです。その中で、生命はもう40億年前に誕生し、誕生した微生物の生命は、はるか長き道のりを幾度の地球の危機的な大変動にさらされながら、かけがえのない命をつないできました。その進化の頂点が、今の私たちです。進化した私たちが今、存在するのは偶然と必然の結果です。歴史は続きます。世界の人類は60億人にもなっています。地球歴史の40億年の命のリレーを無駄にしないよう、今から未来を描き、選ぶのも私たちなのです。また、40億年の気の遠くなる時間に比べ、私たちの高度な生活の時間は本当にわずかで一瞬です。急激な科学文化の進化は地球の環境、また、私たち人類の生活にも、大きなひずみを与えています。地球環境に配慮した持続的な技術の進歩を進めるのも私たちの責任です。未来に続く、出発点がここにあります。」

と、朗読しました。

この言葉の意味をかみしめたいですね。

恐竜と气囊(きのう) 現在は鳥に受け継がれている

川崎様、ホームページ



ヒマラヤを越える鶴

